

1.6. 景観及び人と自然との触れ合いの活動の状況

(1) 景観の状況

1) 地域の景観特性

静岡県との県境付近に弓張山地が広がっています。また、豊橋市の南部には遠州灘の眺望が得られます。豊橋市は全体として平坦であり、山地の遠景眺望を除けば市内には里山等、起伏のある自然景観は見られません。

弓張山地、遠州灘等の自然景観が地域の景観特性を構成する要素となっています。

2) 主要な眺望点及び景観資源

調査区域における主要な眺望点及び景観資源の分布状況は、表 4-1-72(1)～(5)及び図 4-1-33、図 4-1-34 に示すとおりです。

調査区域において、25 地点の眺望点及び 222 箇所の景観資源が確認されています。

表 4-1-72(1) 主要な眺望点及び景観資源

市	種別	No	名称	抽出基準
豊橋市	眺望点	A1	豊橋市動植物公園展望塔	A
		A2	ポートインフォメーションセンターカモメリア	A
		A3	富士見台第四公園	A
		A4	石巻山	A, C
		A5	雨やどり岩	C
		A6	赤岩尾根鉄塔下展望地	C
		A7	座談山	C
		A8	二川 TV 中継所	C
		A9	赤岩山緑地	C
		A10	東山（松明峠）	A, C
		A11	岩屋緑地公園	A, C
		A12	岩屋観音	A, G
		A13	牛川の渡し	A
		A14	豊橋公園	A
		A15	城向広場	A
		A16	豊橋市役所	A
		A17	大岩神明宮	G
		A18	松音寺	G
		A19	大岩寺	G
		A20	伏見稲荷	G
		A21	二川宿	G
		A22	二川八幡神社	G
		A23	妙泉寺	G
		A24	宮川	G

表 4-1-72(2) 主要な眺望点及び景観資源

市	種別	No	名称	抽出基準
豊橋市	景観資源	B1	石巻山	c, d
		B2	岩屋観音	c, d, f
		B3	葦毛湿原	c, d
		B4	片浜十三里	c
		B5	表浜海岸（遠州灘）	d
		B6	ウミガメの訪れる砂浜と海食崖が続く雄大な表浜海岸	d
		B7	汐川干潟	d
		B8	実りの時を迎えた美しい田園	d
		B9	石巻山と清流豊川の緑豊かな河畔林	d
		B10	ゆったりと流れる豊川と緑に覆われた吉田城址	d
		B11	石巻神社（本社）	d
		B12	石巻神社（山上社）	d
		B13	岩崎広場	d
		B14	岩屋緑地	d
		B15	内山川（ホタル）	d
		B16	柿畑	d
		B17	神石山	d
		B18	玉泉寺のナギ	d
		B19	鞍掛神社	d
		B20	駒止めの桜	d
		B21	白石遺跡	d
		B22	新池	d
		B23	梶本八幡社（網火）	d
		B24	赤岩寺	d
		B25	高井遺跡	d
		B26	立岩	d, f
		B27	多米峠	d
		B28	多米の道祖神	d
		B29	多米の不動滝	d
		B30	東光寺	d
		B31	豊橋自然歩道	d
		B32	長尾池	d
		B33	東山（松明峠）	d
		B34	姫街道	d
		B35	日吉神社	d
		B36	船形山	d, f
		B37	船形山城址	d
		B38	普門寺	d
		B39	普門寺の大スギ	d
		B40	三ツ口池	d
		B41	利兵池公園	d
		B42	牛川の渡し	d
		B43	霞堤（牛川霞）	d
		B44	下地緑地（金色島）	d
		B45	豊川	d
		B46	広がる水田	d
		B47	明海緩衝緑地	d
		B48	明海地区（臨海工場地帯）	d
		B49	大西貝塚	d

表 4-1-72(3) 主要な眺望点及び景観資源

市	種別	No	名称	抽出基準
豊橋市	景観資源	B50	傾城塚	d
		B51	神野新田等の水田	d
		B52	杉山町天津の集落（旧漁村集落）	d
		B53	豊橋コンテナターミナル	d
		B54	ポートインフォメーションセンター	d
		B55	愛知大学旧本館	d
		B56	愛知大学公館	d
		B57	朝倉川	d
		B58	石巻神社一ノ鳥居	d
		B59	市道遺跡	d
		B60	岩田運動公園・水神池	d
		B61	牛川洞窟遺跡	d
		B62	牛川遊歩公園	d
		B63	春日神社のマキ	d
		B64	小浜貝塚	d
		B65	正圓寺	d
		B66	第十五師団址	d
		B67	高師緑地・クロマツ	d
		B68	潮音寺	d
		B69	トウカエデ並木	d
		B70	三ツ山古墳	d
		B71	幸公園・ナガバノイシモチソウ自生地	d
		B72	民俗資料収蔵室（旧多米小学校校舎）	d
		B73	向山緑地・大池	d
		B74	牟呂八幡宮	d
		B75	牟呂発電所址	d
		B76	牟呂用水	d
		B77	柳生川	d
		B78	安久美神戸神明社（鬼祭）	d
		B79	東田古墳	d
		B80	吉田御坊と真宗五ヶ寺	d
		B81	旧羽田野家住宅	d
		B82	旧吉田大橋	d
		B83	くすの木通り（クスノキ並木）	d
		B84	ケヤキ並木（国道23号）	d
		B85	悟真寺	d
		B86	こども未来館（ここにこ）	d
		B87	聖眼寺	d
		B88	浄慈院地藏堂	d
B89	常夜燈	d		
B90	神宮寺（身代わり地藏）	d		
B91	真光寺	d		
B92	全久院	d		
B93	豊橋駅	d		
B94	豊橋駅東口駅前広場	d		
B95	豊橋公園	d		
B96	豊橋市公会堂	d		
B97	豊橋ハリストス正教会	d		
B98	二連木城址	d		
B99	羽田八幡宮	d		

表 4-1-72(4) 主要な眺望点及び景観資源

市	種別	No	名称	抽出基準
豊橋市	景観資源	B100	東惣門跡	d
		B101	百花園跡	d
		B102	不動院	d
		B103	穂の国とよはし芸術劇場(プラット)	d
		B104	歩兵第十八聯隊跡	d
		B105	湊神明社(御衣祭)・港築島弁天社	d
		B106	安海熊野社と魚市場	d
		B107	吉田宿	d
		B108	吉田宿問屋場跡	d
		B109	吉田神社(豊橋祇園祭)	d
		B110	吉田新銭座跡	d
		B111	吉田湊	d
		B112	龍拈寺(山門)	d
		B113	臨濟寺	d
		B114	路面電車	d
		B115	糸徳製糸場跡	d
		B116	大岩神明宮	d
		B117	桜並木(梅田川)	d
		B118	松音寺	d, f
		B119	商家「駒屋」	d
		B120	大岩寺	d, f
		B121	西駒屋田村家	d
		B122	旅籠屋「清明屋」	d
		B123	伏見稲荷	d, f
		B124	二川宿	d
		B125	二川宿本陣	d
		B126	二川八幡神社	d
		B127	妙泉寺	d, f
		B128	一里山の一理塚	d
		B129	梅田川	d
		B130	大崎城址	d
		B131	車神社古墳	d
		B132	広大な畑地	d, f
		B133	沢渡池	d
		B134	しあわせ地蔵	d
		B135	太平寺	d
		B136	高師小僧	d
		B137	高師原	d
		B138	高縄城址	d
		B139	反茂池	d
		B140	天伯湿地	d
		B141	天伯山神社	d
		B142	天伯原	d
		B143	豊川用水路	d
		B144	豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)	d
		B145	野依八幡社(シダレザクラ)	d
		B146	万場調整池	d
		B147	万場緑地	d
		B148	御幸神社(花祭)	d
B149	八柱神社	d		

表 4-1-72(5) 主要な眺望点及び景観資源

市	種別	No	名称	抽出基準
豊橋市	景観資源	B150	龍源院のお葉つきイチョウ	d
		B151	小野田家住宅	d
		B152	ささゆりの里	d
		B153	地引網	d
		B154	高塚緑地	d
		B155	高豊漁港	d
		B156	東観音寺（多宝塔）	d
		B157	武徳殿跡	d
		B158	名称不明（※）	d
		B159	賢養院（※）	d
		B160	青龍寺（※）	d
		B161	太蓮寺（※）	d
		B162	願成寺（※）	d
		B163	豊城神社	d
		B164	壽泉寺（※）	d
		B165	村松神明社（※）	d
		B166	忠興八幡神社（一宝観音）	d
		B167	真福寺（真裏口（ませぐち）観音像）	d
		B168	市杵嶋神社古墳	d
		B169	小栗風葉宅址	d
		B170	イチョウ並木	d
		B171	小松神社	d
		B172	豊橋俘虜収容所跡	d
		B173	臨港道路	d
		B174	宮脇1号墳	d
		B175	妙見古墳	d
		B176	安藤動物園跡	d
		B177	第八国立銀行跡	d
		B178	豊橋町役場と旧市役所跡	d
		B179	渥美郡役所跡	d
		B180	藩校時習館跡	d
		B181	西惣門跡	d
		B182	万久煙草工場跡	d
		B183	豊橋創造大学	d
B184	豊橋育児院跡	d		
B185	秋葉山	d		
B186	陸軍基地	d		
B187	東田遊郭跡	d		
B188	伊寶石神社	d, f		
B189	二川駅	d		
B190	問屋場跡	d		
B191	高札場跡	d		
B192	脇本陣跡	d		
B193	新橋川	d, f		
B194	腕かせ岩	d		
B195	豊橋技術科学大学	d		
B196	道の駅「とよはし」	d		
B197	殿田川	d		
B198	宮川	f		
B199	河岸段丘崖の林・河畔林	f		

表 4-1-72(6) 主要な眺望点及び景観資源

市	種別	No	名称	抽出基準
豊橋市	景観資源	B200	権現山古墳群	d
		B201	霞堤（下条霞）	d
		B202	五貫森貝塚	d
		B203	金西寺	d
		B204	比売天神社	d
		B205	護岸海岸（三十三観音）	d
		B206	豊橋総合スポーツ公園	d
		B207	三河港	d
		B208	三河港大橋	d
		B209	瓜郷遺跡	d
		B210	大蚊里貝塚	d
		B211	専願寺	d
		B212	満光寺	d
		B213	素戔鳴神社	d
		B214	真田神社（大根流し）	d
		B215	茶畑の丘	d
		B216	七股池	d
		B217	「菊次郎の夏」の坂道	d
		B218	八所神社	d
		B219	松原用水	d
		B220	貝漁の船と漁を終えて帰る船	d
B221	豊麻神社	d		
田原市	眺望点	a1	緑が浜公園	C
	景観資源	b1	長仙寺	d

注1) 「主要な眺望点」とは、「不特定かつ多数のものが利用している景観資源を眺望する場所」を指し、以下を抽出の基準としている。

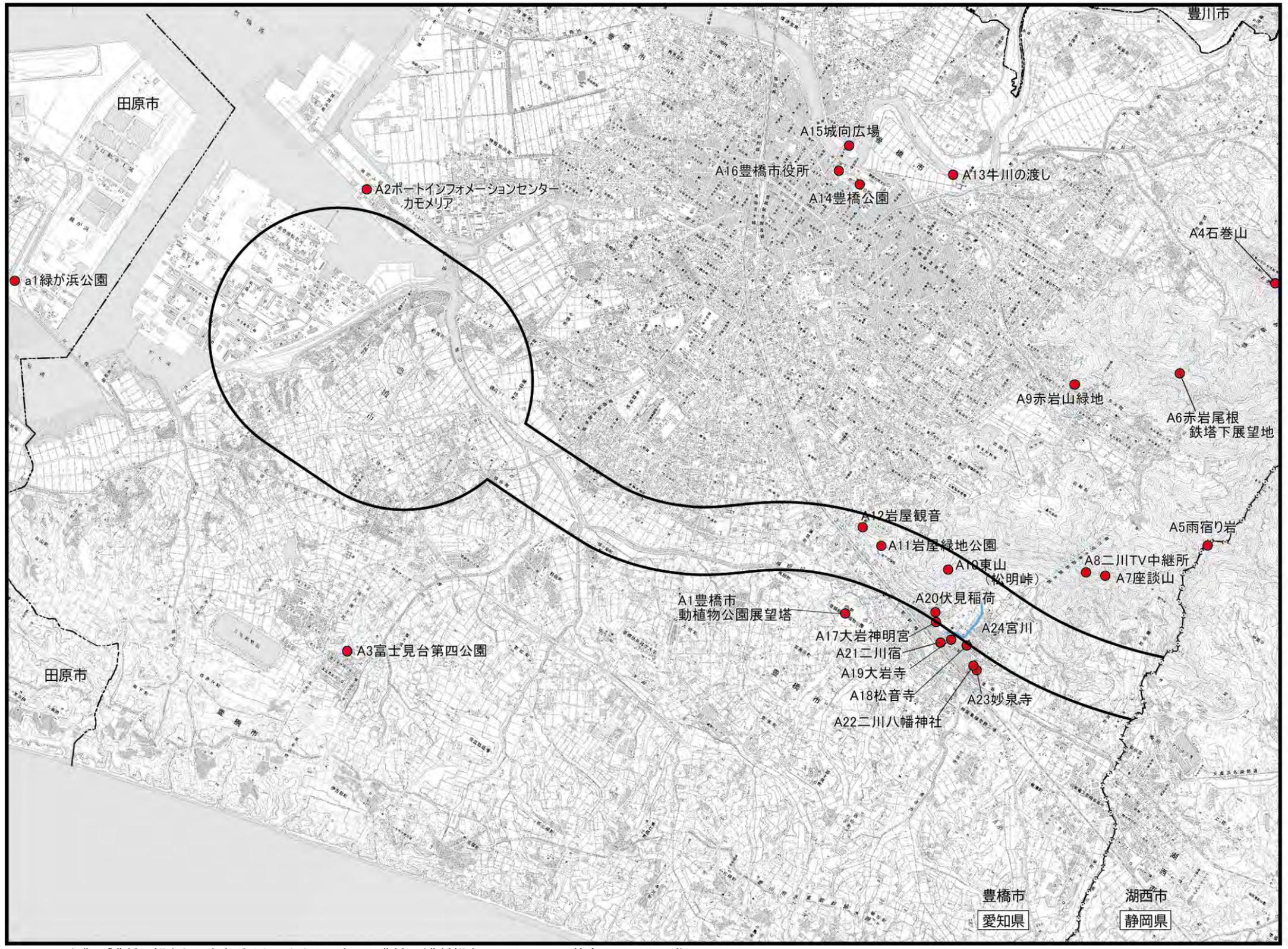
- A：地形図及び地方公共団体等の観光便覧等の資料に展望地、展望台としてあげられているもの
- B：地形図に記載されている峠で、眺望の良い場所
- C：キャンプ場、ハイキングコース、自然歩道等の野外レクリエーション地で眺望の良い場所
- D：観光道路（〇〇ライン等）上で眺望の良い場所
- E：集落周辺の眺望の良い場所、寺社等地域に密接した眺望の良い場所
- F：文化財保護法、条例で指定された自然的構成要素と一体をなす名勝のうち展望地点として指定されるもの
- G：自治体への聞き取りによる眺望点

注2) 「主要な景観資源」は以下の抽出基準により抽出した。

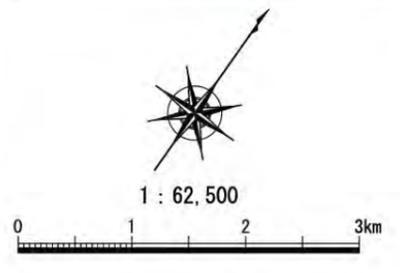
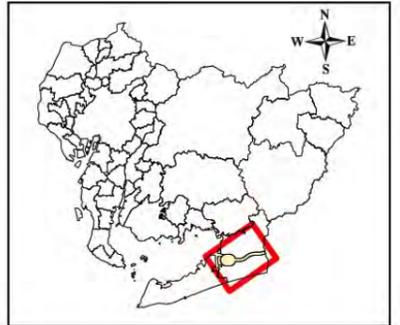
- a：文化財保護法、条例で指定された自然的構成要素と一体をなす名勝
- b：世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約（世界遺産条約）で登録されている文化遺産及び自然遺産
- c：「第3回自然環境保全基礎調査自然景観資源調査報告書」（環境庁）で選定されている景観資源
- d：地方公共団体の条例で指定されている自然景観資源、市町村要覧・観光関連資料・地方公共団体により選定された景観100選等で記載されている自然景観資源
- e：「文化財保護法」で選定された重要な文化的景観を構成する自然景観資源
- f：自治体への聞き取りによる景観資源

注3) (※) 「豊橋市景観資源ガイドマップ」に名称未記載のため詳細不明。

出典：「豊橋の観光とお土産ガイド ええじゃないか豊橋」(豊橋観光コンベンション協会ホームページ)
「豊橋市 緑のスポット」(豊橋市ホームページ)
「豊橋自然歩道ガイドブック」(豊橋市パンフレット)
「第3回自然環境保全基礎調査長野県自然環境情報図」(平成元年、環境庁)
「美しい愛知づくり景観資源600選」(愛知県ホームページ)
「全国観るなび」(日本観光振興協会ホームページ)
「豊橋市景観資源ガイドマップ」(令和3年9月、豊橋市役所都市計画部都市計画課)
「渥美半島だより」(渥美半島観光ビューロー)

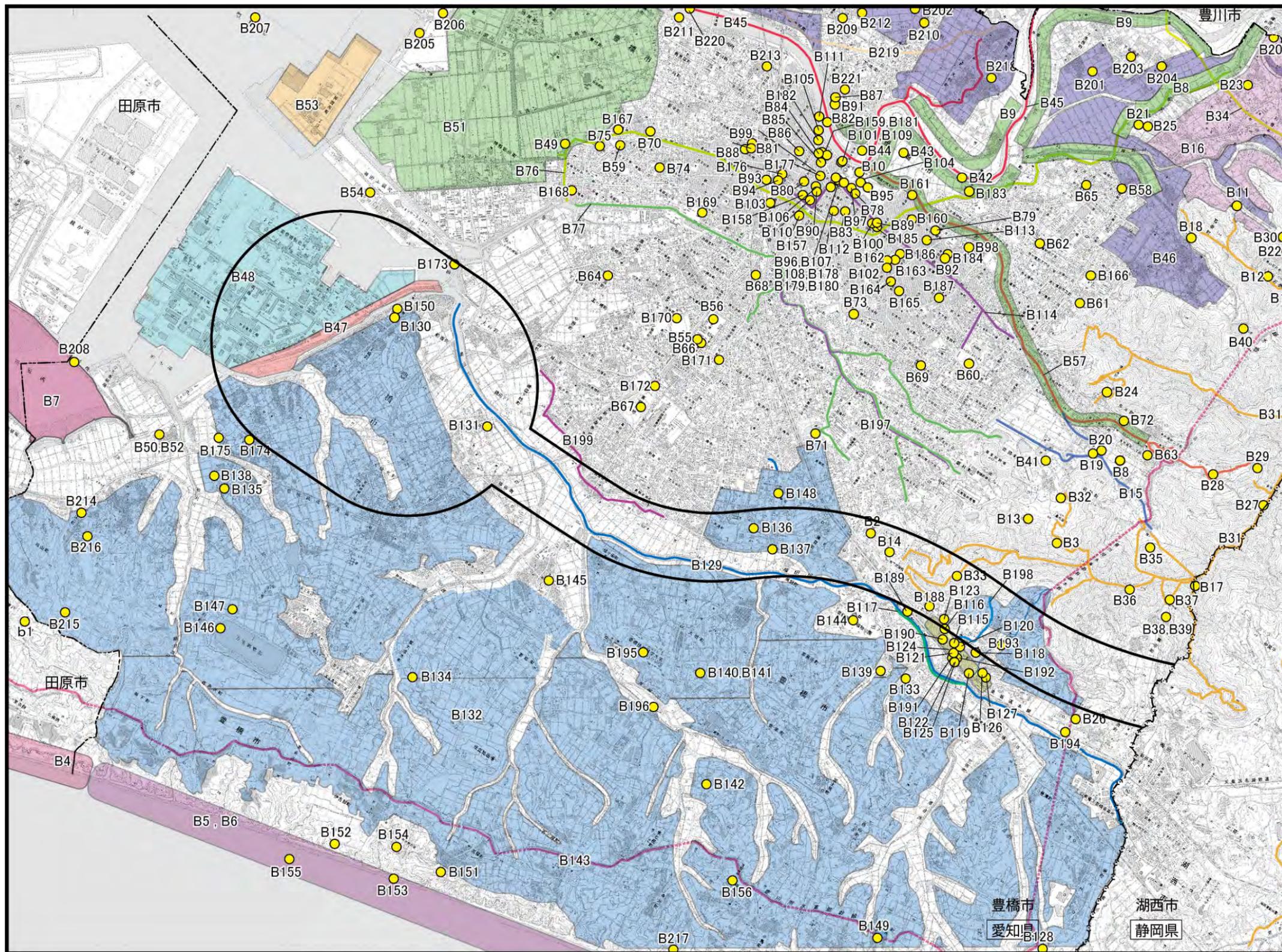


- 凡例
- : 都市計画対象道路事業実施区域
 - : 県境
 - : 市町村界
 - : 眺望点

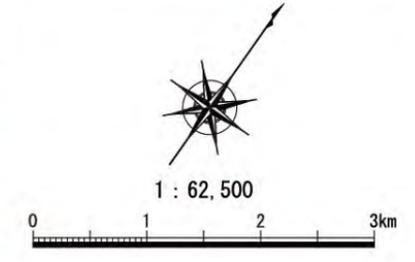
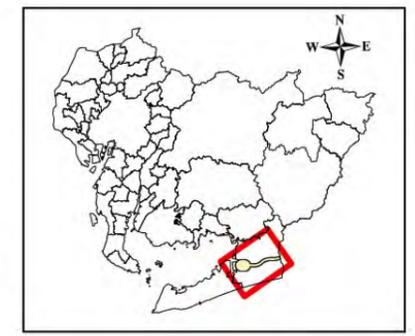


出典：「豊橋の観光とお土産ガイド ええじゃないか豊橋」（豊橋観光コンベンション協会ホームページ）
「豊橋市 緑のスポット」（豊橋市ホームページ）
「豊橋自然歩道ガイドブック」（豊橋市パンフレット）
「第3回自然環境保全基礎調査長野県自然環境情報図」（平成元年、環境庁）
「美しい愛知づくり景観資源600選」（愛知県ホームページ）
「全国観るなび」（日本観光振興協会ホームページ）
「豊橋市景観資源ガイドマップ」（令和3年9月、豊橋市役所都市計画部都市計画課）
「渥美半島だより」（渥美半島観光ビューロー）

図 4-1-33 主要な眺望点位置図



- 凡例
- : 都市計画対象道路事業実施区域
 - : 県境
 - : 市町村界
 - : 景観資源ポイント
- : 内山川(ホタル)
 - : 豊橋自然歩道
 - : 姫街道
 - : 豊川
 - : 朝倉川
 - : 牟呂用水
 - : 柳生川
 - : 殿田川
 - : 新橋川
 - : 路面電車
 - : 桜並木(梅田川)
 - : 梅田川
 - : 豊川用水路
 - : 宮川
 - : 河岸段丘崖の林・河畔林
 - : 松原用水
- : 表浜海岸(海岸林・海食崖・砂浜)
 - : 明海地区(臨海工場地帯)
 - : 汐川干潟
 - : 神野新田等の水田
 - : 豊川の河畔林
 - : 豊橋コンテナターミナル
 - : 柿畑
 - : 広がる水田
 - : 明海緩衝緑地
 - : 片浜十三里
 - : 二川宿
 - : 広大な畑地



出典：「豊橋の観光とお土産ガイド ええじゃないか豊橋」(豊橋観光コンベンション協会ホームページ)
 「豊橋市 緑のスポット」(豊橋市ホームページ)
 「豊橋自然歩道ガイドブック」(豊橋市パンフレット)
 「第3回自然環境保全基礎調査長野県自然環境情報図」(平成元年、環境庁)
 「美しい愛知づくり景観資源600選」(愛知県ホームページ)
 「全国観るなび」(日本観光振興協会ホームページ)
 「豊橋市景観資源ガイドマップ」(令和3年9月、豊橋市役所都市計画部都市計画課)

※事業実施区域内の景観資源の名称

No.	名称	No.	名称	No.	名称	No.	名称
B2	岩屋観音	B123	伏見稲荷	B137	高師原	B193	新橋川
B14	岩屋緑地	B124	二川宿	B143	豊川用水路	B198	宮川
B33	東山(松明峠)	B129	梅田川	B173	臨港道路	B199	河岸段丘崖の林・河畔林
B47	明海緩衝緑地	B130	大崎城址	B150	龍源院のお薬つきイチョウ		
B48	明海地区(臨海工場地帯)	B131	車神社古墳	B188	伊寶石神社		
B116	大岩神明宮	B132	広大な畑地	B189	二川駅		
B118	松音寺	B136	高師小僧				

図4-1-34 主要な景観資源位置図

(2) 人と自然との触れ合いの活動の状況

調査区域の人と自然との触れ合いの活動の場は、表 4-1-73(1)～(5)及び図 4-1-35 に示すとおりです。

調査区域において、52 箇所の人と自然との触れ合いの活動の場が確認されています。特に静寂性を要するバードウォッチング等の活動の場としては、岩屋緑地 (No.32) や境川河口 (No.47) などがあります。

表 4-1-73(1) 人と自然との触れ合いの活動の場

No.	市	名称	概要
1	豊橋市	石巻山自然歩道	豊橋自然歩道の支線の1つ。石巻山の麓、間場口から石巻山頂までの2.2kmの自然歩道。コース途中に石巻自然科学資料館や石巻神社がある。
2		石巻観光路・石巻巡回遊歩道	豊橋自然歩道の支線の1つ。石巻山駐車場から石巻観光路、石巻巡回遊歩道(南)を経て石巻尾根分岐点に至り、また巡回路(北)と観光路を通り石巻山駐車場まで戻るコース。総距離は約7.1km。
3		赤岩自然歩道	豊橋自然歩道の支線の1つ。赤岩自然歩道入口から赤岩尾根分岐までの約4.2kmの自然歩道。
4		豊橋自然歩道本線	豊橋市東部の弓張山地一帯に整備された自然に親しむための遊歩道で、北の中山峠から南の松明峠までの弓張山地の尾根道を本線として、道標や階段等が整備されている。コース途中に二川TV中継所や雨宿り岩、割れ岩(富士見岩)など眺望が優れた箇所を多数通過する。
5		石巻山周辺	独特の姿から古くから信仰の対象とされてきた標高358mの山である。山頂付近は、石灰岩の巨岩が露出する険しい地形となっており、石灰岩地特有の植物・動物が多く見られる。このため、不動堂より上部の地域は「石巻山石灰岩地植物群落」として国の天然記念物に指定されている。山の中腹には、石巻神社山上社が鎮座し、豊橋市石巻自然科学資料館や観光旅館などの施設がある。石巻山の南山麓には、豊川用水のため池である三ツ口池があり、周辺でタカ類の飛翔を見ることがあり、バードウォッチングサイトとされている。
6		多米自然歩道	豊橋自然歩道の支線の1つ。多米トンネル西口の多米峠無料休憩所から多米峠までの約0.7kmの自然歩道。
7		朝倉川上流域・多米峠	朝倉川は、多米峠付近を源流域とし、市街地を流れ沖野で豊川に合流する河川であり、川の大半はコンクリート護岸に覆われているが、植生が回復している所もある。多米峠から朝倉川沿いに西へ谷が開けて、滝ノ谷池付近の山麓部では里山の風景を見ることができる。朝倉川の上流部には、NPO法人朝倉川育水フォーラムが整備・管理している滝ノ谷ビオトープがあり、自然再生の取組が進められている。また、バードウォッチングサイトとされている。
8		神石山自然歩道	豊橋自然歩道の支線の1つ。駒止バス停を起点として、神石山自然歩道入口から豊橋自然歩道本線と合流し、神石山までの約1.2kmの自然歩道。
9		普門寺自然歩道	豊橋自然歩道の支線の1つ。駒止バス停を起点として、普門寺自然歩道入口から普門寺峠を越えて普門寺までの約1.4kmの自然歩道。
10		二川のんびり歴探コース	二川地区には二川本陣資料館をはじめ、駒屋、松音寺など魅力的なスポットがあり、街の歴史を感じられるコース。

表 4-1-73(2) 人と自然との触れ合いの活動の場

No.	市	名称	概要
11	豊橋市	赤岩寺自然歩道	市内東部に位置し市街地に面する自然豊かな風致緑地（赤岩寺周辺）。緑地内を豊橋自然歩道の支線である赤岩寺自然歩道が通過しており、葦毛湿原や石巻山とも繋がっている。緑地内には、展望台のほかに見晴らしの良い場所（砂防ダムの下広場など）が点在している。また、ヤマザクラの大木やクロバイなど自然豊かな緑地である。
12		手洗池・両止池	葦毛湿原から北東方向の山の尾根を越えた谷の奥部に位置する農業用ため池。かつて、ここの池の周辺には、モウセンゴケなど葦毛湿原と共通する湿原植生があったが、遷移や周辺環境変化により消滅した。今日でも、池の背後に発達したハンノキの林に湿地の名残りを見ることができる。 バードウォッチングサイトとされている。
13		赤岩寺	高野山真言宗 行基菩薩が聖武天皇の願いを受けて神亀3年（762年）に開いたと言われ、後に、高野山明王院の末寺となり鎌倉時代に入り、源頼朝が選んだ三河の名刹七ヶ寺の一つとなった。国の重要文化財の愛染明王坐像をはじめ、寺の所蔵する寺宝展が毎年行われる。周辺は、落葉広葉樹や針葉樹の混合林になっていて春は、桜、新緑、秋には、紅葉が楽しめ、赤岩寺自然歩道では、一年中ハイキングが楽しめる。また、バードウォッチングサイトとされている。
14		葦毛湿原・ホタルコース	別名「東海のミニ尾瀬」ともいわれ、湿性植物、高山性植物、食虫植物など250種類におよぶ昆虫も生息。近くを流れる内山川水域は、市内でも有数のゲンジボタルの生息地として知られており、シーズン中は幻想的な世界が楽しめる。
15		葦毛湿原・岩崎自然歩道	豊橋自然歩道の支線の1つ。岩崎・葦毛湿原バス停を起点として、葦毛湿原・岩崎自然歩道入口から葦毛湿原を経て豊橋自然歩道本線と合流し、二川TV中継所までの約2.7kmの自然歩道。
16		赤岩山緑地	市内東部に位置し市街地に面する自然豊かな風致緑地（赤岩寺周辺）。緑地内を豊橋自然歩道の支線である赤岩寺自然歩道が通過しており、葦毛湿原や石巻山とも繋がっている。緑地内には、展望台のほかに見晴らしの良い場所（砂防ダムの下広場など）が点在している。また、ヤマザクラの大木やクロバイなど自然豊かな緑地であり、バードウォッチングサイトとされている。
17		大脇自然歩道	豊橋自然歩道の支線の1つ。豊川用水東部幹線水路の竹の谷橋を起点として大脇自然歩道入口から豊橋自然歩道本線に合流するまでの約1.8kmの自然歩道。
18		岩崎地域ため池群	岩崎町の里山と平地の水田地帯の境目に、東西に宮前池、利兵池、影岩池、上庄池の4つの農業用ため池が繋がっている。この4つの池のうち、宮前池と利兵池は公園的な整備が施されており、ため池の自然観察に適している。特に利兵池は水辺にヨシやガマなどが生育し、周辺にはハンノキやコナラの雑木林があるなど豊かな自然が残されているため、バードウォッチングサイトとされている。
19		牛川ハナミズキコース	牛川遊歩公園は通称「1キロ公園」とも呼ばれ、東西に延びた全長約1kmの散策路は地域の市民の憩いの場。近くに位置するハナミズキ並木は、春になると白や紅色の大きな花が咲く。

表 4-1-73(3) 人と自然との触れ合いの活動の場

No.	市	名称	概要
20	豊橋市	葦毛湿原	弓張山地に三方を囲まれた標高 70m 前後の緩やかな傾斜地に広がる湧水湿地。湿原の面積は約 3.2ha で、湧水湿地としては国内最大級の広さを誇る。分布が東海地方にほぼ限られる植物や寒冷地性の植物など学術的に貴重な種が数多く生育していることから 2021 年国指定の天然記念物に指定されている。市街地近郊にある身近な湿原として、春と秋の開花のシーズンには数多くの市民が訪れる。バードウォッチングサイトとされている。
21		二川さくら並木	梅田川沿いのウォーキングコース。3 月下旬から 4 月ころには、満開の桜が咲き二川伏見いなり境内には、4 月初旬から中旬が見ごろの御衣黄桜が花を咲かせる。
22		牛川遊歩公園	昭和 49 年 4 月に開設された地区公園。通称 1 キロ公園と呼ばれるように、約 40m メートルの幅に対して約 1km の長さがある、並木状の公園である。遊歩公園という名のとおり、たくさんの方が、花や緑陰、黄葉を見ながら、四季を通じて散歩やジョギングを楽しむ。また、公園の西端には青陵地区市民館があり、文化交流の場としても活用されている。
23		岩崎広場	庭園鑑賞と山林内の散策が楽しめる公園。広場は、里山として利用されてきた山林、庭園および果樹園からなる。公園の南側には国有林が広がり、葦毛湿原からほど近い場所にある。山林にはクリが多く、ヤマザクラなども見られ、山林内を散策することができる。庭園にはツバキなどの花木や草花があり、四季折々の風景を楽しむことができる。 バードウォッチングサイトとされている。
24		三太郎池	葦毛湿原の西側、山のふもとのコナラを中心とした雑木林の中にある農業用のため池。水辺は、ヨシやガマが生え、葦毛湿原と共通する湿原植物も生育し、貴重な湿原となっている。三太郎池周辺の雑木林には里山の鳥類が生息しており、バードウォッチングサイトとされている。
25		岩田運動公園	市の東部に位置し、豊橋市民球場、テニスコート等のスポーツ施設と、北側に広がる水神池の周りの散歩道は心和む公園として親しまれている。
26		東山自然歩道	豊橋自然歩道の支線の 1 つ。J R 二川駅を起点として、東山自然歩道入口から東山（松明峠）までの約 1.5km の自然歩道。
27		二川自然歩道	豊橋自然歩道の支線の 1 つ。J R 二川駅を起点として、二川自然歩道入口から前から東山（松明峠）までの約 1.3km の自然歩道。
28		沖野・金色島	沖野は、豊川と朝倉川にはさまれた低地で、畑がひろがっている。金色島は、豊川の蛇行部に土砂が堆積して陸地状になった場所で、地名は「島」ですが陸続きである。三河湾の干満の影響を大きく受け、干潮時には、中洲や砂浜が現れる。 バードウォッチングサイトとされている。
29		岩屋展望コース	展望台から市内を一望できる全長約 4.7km のコース。岩屋緑地は、大倉山を中心として市民が自然と親しむために整備された公園で、頂上の展望台からは市街地一円を見渡すことができる。
30		飯村公園	紅葉が楽しめる公園。1.41ha の敷地に遊具なども整備されている。
31	豊橋公園・豊川リバーサイドコース	豊橋公園は豊橋市のシンボリック公園で、テニスコート、陸上競技場、武道館などのスポーツ施設や文化施設などがある。豊川は東三河地方の発達に大きな役割を果たし、堤防沿いに設けられた豊川親水緑道は水辺に親しむことができる散策路である。	

表 4-1-73(4) 人と自然との触れ合いの活動の場

No.	市	名称	概要
32	豊橋市	岩屋緑地	旅人の安全を見守る岩屋観音がある広大な緑地。岩屋観音周辺は公園として整備され、1,000本を越える桜並木が圧巻。展望台付近まで登れば、桜の花と展望を楽しむことができる。春はさくらまつりが開催される。 バードウォッチングサイトとされている。
33		大岩地域ため池群	大岩地域にある反茂池と沢渡池は、住宅地の中に残る農業用のため池である。池の中には、浅瀬がありヨシなどが生えている。冬はカモ類が集まり、バードウォッチングサイトとされている。
34		豊橋公園	豊橋市民のシンボリック公園。吉田城跡、美術博物館、三の丸会館と文化施設に富む都会のオアシスで、軟硬式テニスコート、陸上競技場、野球場、武道会館等のスポーツ施設も多数あり、広く市民に親しまれている。バードウォッチングサイトとされている。
35		豊橋総合動植物公園	約40haの広大な敷地に、動物園ゾーン、植物園ゾーン、遊園地ゾーン、そして自然史博物館が整備されたレクリエーションと学びの施設。
36		向山緑地	市街地の中にあり、初春の梅林園、春の桜、ツツジ、夏は新緑、さらに向山大池と、四季を通じて老若男女が憩える公園。池には橋が架かり周囲には遊歩道が整備されている。春まつりやうめまつり等のイベントが開催される。 バードウォッチングサイトとされている。
37		文化つつじコース	市の花「ツツジ」にちなんで名付けられた全長約6kmのコース。スタート、ゴール地点の向山緑地、中間地点の幸公園は四季を通じて色とりどりの花、新緑、野鳥など自然の美しさを満喫できる。
38		長三池・幸公園	市街地に残された長三池を中心に幸公園として整備され、池には橋が架かり周囲には遊歩道が整備されている。水のある公園として親しまれ、自然観察などに適した場所であり、バードウォッチングサイトとされている。
39		天伯湿地	標高約76m、面積約0.14haで天伯原と呼ばれる台地にある小さな湿地。天伯山神社の湧水を水源とし、葦毛湿原に似た植生を見ることができる。天伯原は元々が荒地で、ところどころに小湿地がたくさんあったが、戦後の開拓により住宅や田畑が増え、今では天伯湿地を残すのみである。
40		柱大池・なまず池	市街地に残された農業用のため池。なまず池は、柱第二公園として整備され、池辺にはヨシなどが植えられ、池の周りを散策できるようになっている。柱大池・なまず池では、初夏から夏にかけて、コフキトンボなど池沼のトンボを見ることができる。
41		高師緑地	豊橋鉄道渥美線「高師駅」から歩いて少しのところにある公園。公園内には、野球グラウンド、ゲートボール場、馬場など広場もいくつかある。緑が豊富で、ウォーキングやジョギング、キャッチボールを楽しむことができる。
42		梅田川河口	梅田川は本市の南部地域を東西に流れる河川で、船渡町付近で三河湾に注いでいる。河口付近は、三河湾の潮の干満の影響を受ける汽水域で、干潮時には川の両岸に干潟が現れる。国道259号線の植田橋より上流部にはヨシ原が広がっている。バードウォッチングサイトとされている。
43	植田大池	住宅地の中に残る農業用のため池。池の中では、浅い場所にヨシなどが群生し、夏にハスの花が咲く。夏にはトンボ類が見られ、冬にはカモ類が集まる。バードウォッチングサイトとされている。	

表4-1-73(5)人と自然との触れ合いの活動の場

No.	市	名称	概要	
44	豊橋市	表浜海岸 伊古部・高塚	遠州灘沿いに浜名湖から渥美半島の伊良湖岬まで続く表浜(別名・片浜十三里)といわれる長大な海岸線の一部。細谷に比べると砂浜の幅は狭いが、砂浜の背後に海食崖があり、その上には海岸林が帯状に発達している。高塚付近では崖に砂がたまって砂丘となっているのを見ることができる。	
45		豊橋市 少年自然の家・野外教育センター	表浜海岸そのすぐ近くに位置し、豊富な自然体験ができる野外教育施設。学校児童生徒、青少年団体、学生サークル活動、ボランティア活動等で利用される。	
46		野依台上藤ヶ谷公園	バードウォッチングができる公園。公園の背後には一段も二段も下がって池がありその周りも公園に含まれている。平成元年にこの公園が整備され、大清水校区 50 周年の平成 19 年に大清水小学校の児童がロウバイ 50 本を植樹した。	
47		境川河口	三境川は、大清水町付近を源流とし、老津町、大崎町で三河湾に注ぐ小河川であり、河口付近の小さな干潟には、ヨシ原が形成され、塩性湿地に固有の植物が生育しており、サギ類やシギ・チドリ類を見ることができ、バードウォッチングサイトとされている。	
48		万場レイクサイドコース	万場調整池周辺の遊歩道を 2 周するコース。池の周りには、カシ、シイ、ケヤキなどの高木とツツジ、あじさいなどの低木がバランスよく植えられ、緑地公園として利用されている。	
49		万場緑地	豊川用水東部幹線の調整池の周りに広がる緑地で、シラカシ、シイ、ケヤキ等の高木と、ツツジ、あじさいが植えられ、くだものや野菜の遊具、水と緑のゾーン、西側にはコンビネーション遊具と、水に親しみながら、学べる場を提供している。また、バードウォッチングサイトとされている。	
50		汐川干潟	三河湾の最深部で、田原町東部の汐川河口から豊橋市の杉山町地先にかけて広がる面積約 280ha の干潟。満潮時にはほぼ全域が海になり、干潮時には滞筋を除きほぼ全域が干潟になる。シギ、チドリ類をはじめ様々な鳥を見ることができる全国でも有数の水鳥の宝庫であり、バードウォッチングサイトとされている。	
51		真田神社・七股池	杉山町内陸部の常緑広葉樹林は、南部地域では最も自然が豊かな森林であるといわれている。 真田神社は、杉山町の住宅地と水田地帯の間に位置する歴史のある神社で、境内には市域で唯一のシデコブシが自生している。 七股池は周辺が雑木林となっており、様々な水鳥やトンボが生息している。	
52		田原市	緑が浜公園	海が見える公園。スポーツや憩いの場所として利用されている公園で、野球場や多目的広場、パターゴルフ場、テニスコートなどがあり、釣りやバーベキューも楽しめる。

出典：「豊橋市 緑のスポット」(豊橋市ホームページ)

「とよはしネイチャースポット保全マニュアル」(豊橋市ホームページ)

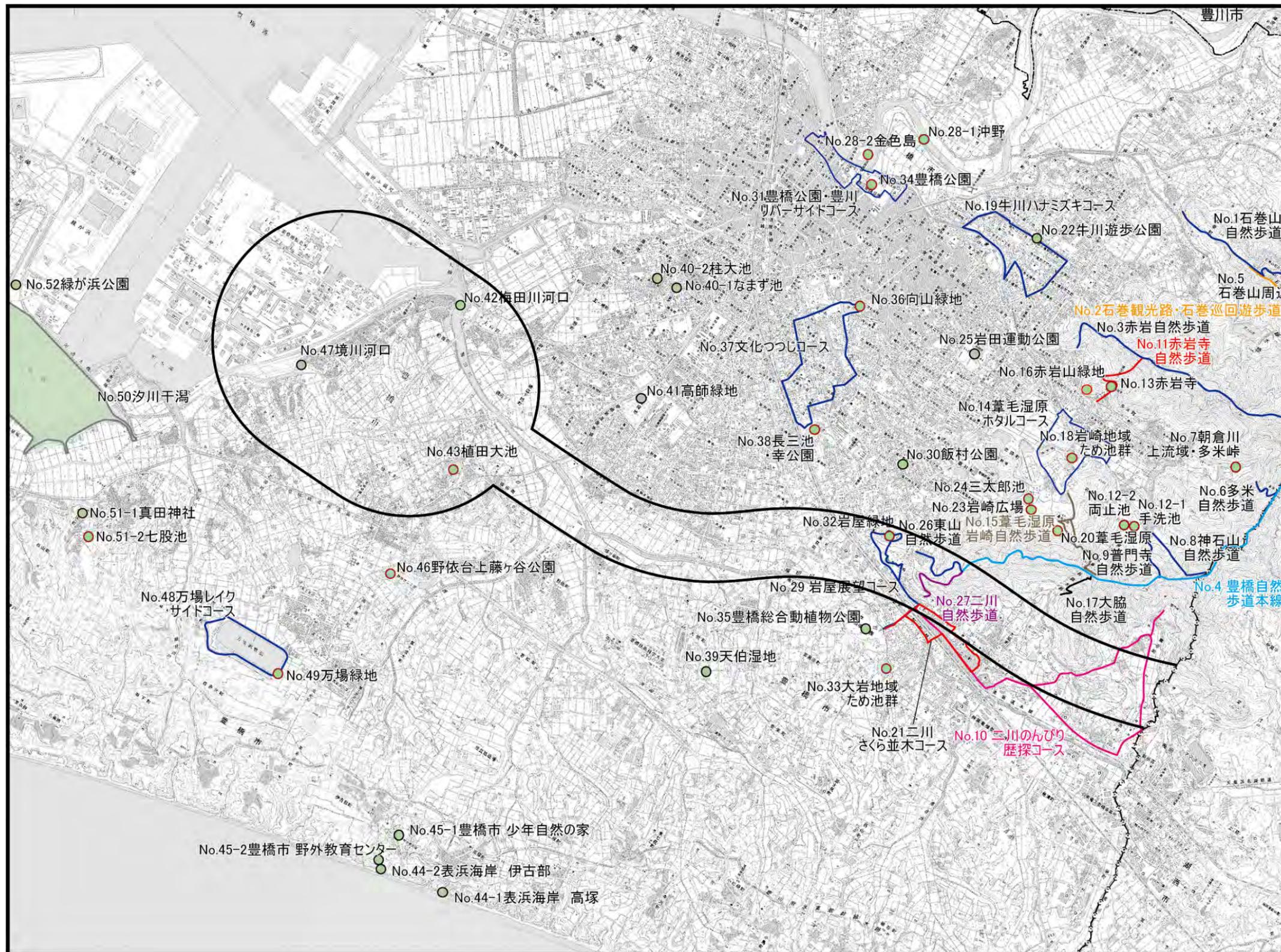
「豊橋自然歩道ガイドブック」(豊橋市パンフレット)

「豊橋市 健康の道」(豊橋市ホームページ)

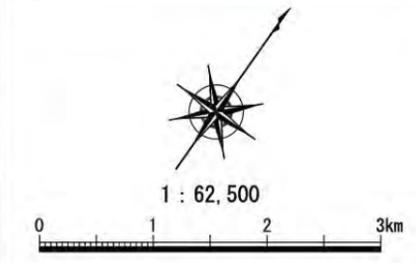
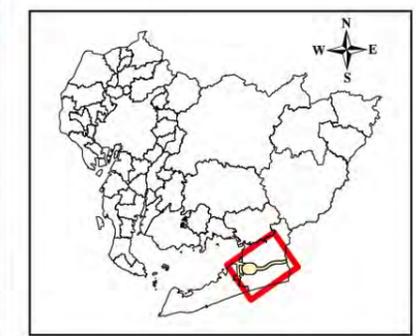
「はしってみ輪 とよはし」(豊橋市都市交通課パンフレット)

「豊橋の観光とお土産ガイドええじゃないか豊橋」(豊橋観光コンベンション協会ホームページ)

「渥美半島だより」(渥美半島観光ビューロー)



- 凡例
- : 都市計画対象道路事業実施区域
 - : 県境
 - : 市町村界
 - : 人と自然との触れ合いの活動の場
 - : バードウォッチング活動も行われる人と自然との触れ合いの活動の場



出典：「豊橋市 緑のスポット」（豊橋市ホームページ）
「とよはしネイチャースポット保全マニュアル」（豊橋市ホームページ）
「豊橋自然歩道ガイドブック」（豊橋市パンフレット）
「豊橋市 健康の道」（豊橋市ホームページ）
「はしってみ輪 とよはし」（豊橋市都市交通課パンフレット）
「豊橋の観光とお土産ガイド ええじゃないか豊橋」（豊橋観光コンベンション協会ホームページ）
「渥美半島だより」（渥美半島観光ビューロー）

図 4-1-35 人と自然との触れ合いの活動の場位置図

1.7. 一般環境中の放射性物質の状況

調査区域における一般環境中の放射性物質の状況は、1箇所設置されたモニタリングポストにより通年24時間連続で、空間放射線量率が測定されています。

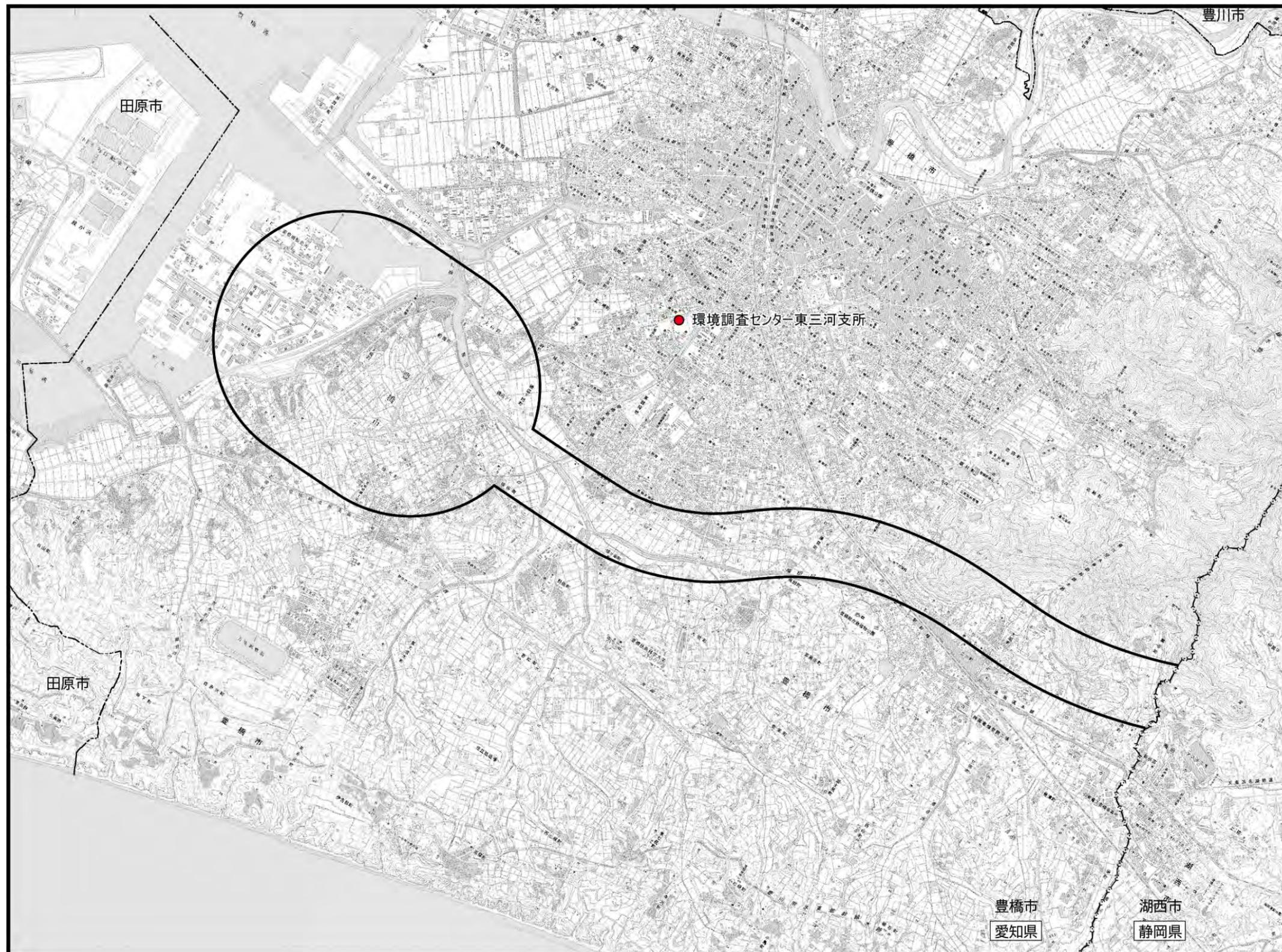
調査地点は図4-1-36、調査結果は表4-1-74に示すとおりです。令和4年度の空間放射線量率（年間平均値）は、 $0.039 \mu\text{Gy/h}$ で、通常測定される範囲内となっています。

表 4-1-74 空間放射線量率測定結果（令和4年度）

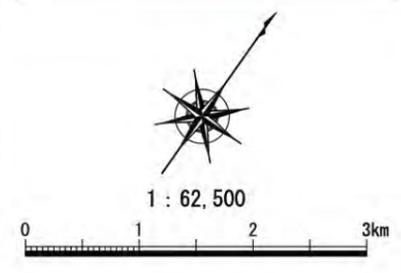
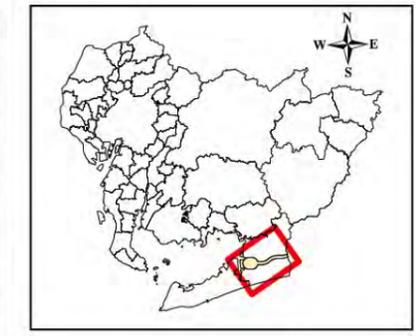
測定地点	測定結果（ $\mu\text{Gy/h}$ ）		
	最低値	最高値	平均値
環境調査センター東三河支所	0.036	0.071	0.039

注) Gy(グレイ)は吸収線量の単位で、1Gyは物質の質量1kg当たり1J(ジュール)のエネルギーが放射線から付与されることを表す。

出典：2022年度環境放射能水準調査結果（原子力規制庁委託事業）（愛知県ホームページ）



- 凡 例
- : 都市計画対象道路
事業実施区域
 - : 県境
 - : 市町村界
 - : モニタリングポスト
設置場所



出典：2022年度環境放射能水準調査結果（原子力規制庁委託事業）（愛知県ホームページ）

図 4-1-36 放射性物質の調査地点位置図